

2021年度宮城大学入学者選抜（2020年度実施）の変更について（予告）

本学では、2018年7月2日の予告（第一報）、2019年2月8日の予告（第二報）に加えて、2021年度宮城大学入学者選抜を以下のとおり実施する予定ですので、第三報としてお知らせします。

なお、このほかの入試制度内容については、2021年度宮城大学入学者選抜要項にて公表する予定です。

1. 大学入学共通テスト「英語」における外部の「資格・検定試験」の活用方法について

一般選抜と学校推薦型選抜においては、大学入学共通テスト「英語」における外部の「資格・検定試験」について、大学入試センターから提供されるCEFR対照表に基づく段階ごとに「加点」材料として活用することとします。（総合型選抜では、これまで同様、合格者に自己採点結果の報告を求める予定ですが、外部の「資格・検定試験」の報告方法は後日公表します）

CEFR対照表に基づく段階ごとの加点については、本学の試験区分ごとに大学入学共通テストの英語の満点の2割とします。大学入学共通テストの英語の満点を250点とした場合、筆記および英語リスニング（250点満点を200点に圧縮）とCEFR対照表に基づく段階ごとの加点（50点満点）の合計点を、大学入学共通テストの英語の得点として入学者選抜に用います。

なお、CEFR対照表に基づく段階ごとの加点幅は、後日公表します。

2. 大学入学共通テストにおける記述式問題の活用方法について

（1）国語の記述式問題の活用について

大学入学共通テストの国語の記述式問題の採点結果（段階別評価）を点数化し、マークシート式問題の点数と合算して国語の成績とします。その方法は、段階別評価に関する内容や配点を踏まえ、後日公表します。

（2）数学の記述式問題の活用について

大学入学共通テストの数学の記述式問題の結果は、マークシート式問題と一体で出題され配点がなされることから、従来のマークシート式と同様の取扱いとします。

3. 一般選抜における主体性等の評価について

調査書の改訂状況等を踏まえて引き続き検討を行い、後日公表します。

4. 特別選抜（帰国子女・社会人・外国人留学生）における英語4技能評価について

特別選抜（帰国子女・社会人・外国人留学生）における英語4技能評価に資するため、これまでの選抜方法に加え、出願にあたっては、原則として、大学入試センターが大学入学共通テストにおいて認定する全ての「資格・検定試験」のうち1つを受験の上、公式スコアを提出していただきます。この公式スコアは、総合的な合否判定に活用することとします。

以上